

学校図書館支援センター通信 NO.130 2月号



平成30年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



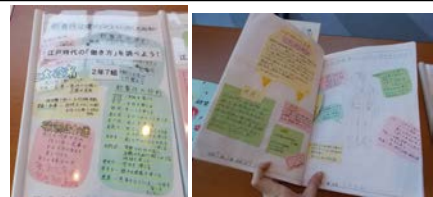
第3回学校図書館研修会・ネットワーク会議

1月29日（火）に、今年度最後の「学校図書館研修会・ネットワーク会議」が行われました。今年度は、文部科学省委託研究協力校の第七中学校と文科学大臣表彰を受けた南行徳中学校の2校に実践発表をしていただきました。会場入口には、各学校の展示コーナーを設け、生徒達の作品や情報カードなど、実物を手に取ってみることができました。授業で実際に使用している資料等もあり、どれも参考となる資料でした。



第七中学校展示コーナー

「教科のねらいを達成するための図書館活用の実践」



社会科 2年

「江戸時代の産業・政治改革文化」
学校図書館に色紙が用意されており、調べた後のまとめに使用されています。どの教科でも活用されているので、生徒達もまとめ方をよく理解して取り組んでいるようです。



国語科 2年

「日本の名作に触れよう」
どの子も抵抗なく読めるように短編作品から読みはじめ、読んだ作品の中から紹介する1冊を選び、文豪について調べてまとめました。さらに長編の作品に挑戦したい生徒のために、長編集も用意をして、学習を進めていました。

2・3年生の特別活動で、防災の意味、災害時の行動について考えました。

※この掲示物は、生徒でなく、夏休みに行った教員の図書館ワークショップで作成したものです。

南行徳中学校展示コーナー

「テーマ性のある朝読書と図書館活用—大きな一つの図書館に支えられて—」

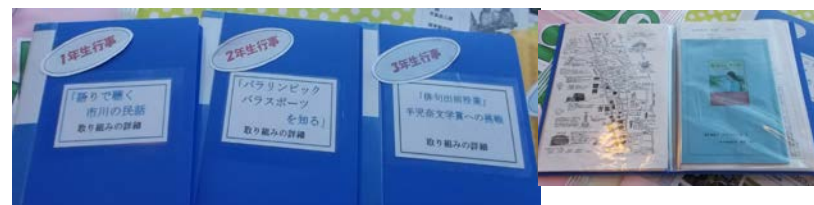


各学年の行事をファイリング

学校図書館を活用した各学年の取り組みをまとめておくことで、次年度に活用することができます。使用したワークシートや生徒たちの様子がわかる資料等が整理されていました。わかりやすくファイリングしておくことで、業務改善にもつながると思います。

【各学年の行事】

- 1年生「語り継ぐ市川の民話」
- 2年生「パラリンピック・パラスポーツを知る」
- 3年生「俳句出前授業 手児奈文学賞への挑戦」



ドイツ留学生との交流

ドイツ語と日本語で、お互いに読み聞かせを行ったそうです。聞き手は、翻訳のプリントを持っています。それぞれの母国語の響きを楽しむことができた取組となりました。また、留学生が書いたおすすめの本の紹介カードは、学校図書館に掲示されています。

11月1日から一か月間、柏井小の読書月間です。図書委員の劇から始まり、しおり作り・読書郵便・読書クイズ・おすすめの本の掲示と、毎年盛りだくさんなイベントを計画しています。

中でもみんなが楽しみにしているのが、「しおり作り」と「先生達の朝の読み聞かせ」です。しおり作りは、色画用紙に絵を描いたり、シールを貼ったりします。1年生から6年生までのしおりを見ると、成長の跡がうかがえますし、大事に使っていることが嬉しいです。

朝の読み聞かせのクラスはくじ引きで決めていますので、どの先生が来てくださるのか当日までのお楽しみです。

（市川市立柏井小学校 学校司書 松戸隆子）



【校長先生の読み聞かせ】

非常勤学校司書研修会より

今年度最後の非常勤学校司書研修会が、2月6日（水）に行われました。今回は、「図書館を活性化させる取り組みについて」をテーマに、中学校と小学校に分かれて、各学校の取り組みの情報を交換しました。話題になった実践についていくつか紹介します。

展示・掲示コーナーについて

- 今年度の話題になった人を紹介するコーナーを作る。
- ことわざの本のページを毎日変えて開いておくなど、カウンターのそばに年間掲示を行う。
- 新聞からテーマを2つ決めて、入り口付近に展示する。
- 教室前に子供たちが作成したおすすめの本のポスターを掲示する。

先生方へのアピール方法

- 教員向け「図書館だより」を配付する。
- 新刊本が入ったら、まずは職員室へ置く。

卒業生に向けて

- 6年生の心に残った一冊を掲示する。
- 中学3年生へ「しおり」のプレゼント。

文部科学省委託事業のまとめ ～事業委員会～

2月7日（木）、今年度の文部科学省委託事業に関わる事業委員会を開催しました。事業委員長として、帝京大学 教授 鎌田和宏先生をお招きして、協力校である第七中学校の1年間の取組を中心に、今年度の調査研究の振り返りを行いました。

鎌田先生から、「第七中学校の取組は、モデルになる実践がたくさんあるので、ぜひ市内の学校へ広げてほしい。」というお話がありました。また、市川市が早い段階から読書教育に目を向けた取組を行ってきたことについて、教育の本質をおさえた取組であると評価していただきました。ICTの進化で社会が大きく変化していく中、人間ならではの力（語彙力や読解力、苦心して物を作り上げる力など）が求められることになるとおっしゃっていました。これらのことは、まさに市川市が大切にしてきた「言葉の力」が土台となってついていく力であり、これからも学校図書館に目を向けた取り組みを大切にしていってほしいというご助言をいただきました。

お願い

3月7日（木）締切の提出書類があります。計画的に準備を進めてくださいますようお願いいたします。

- ①学校図書館活用授業時数調査
- ②学校図書館チェックリスト
- ③学校図書館活用実態調査

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

